

平成27年度 事業計画

環境認識

我が国の経済は、原油価格の大幅下落の恩恵、日銀の追加緩和を背景とする円安・株高基調による景気の押し上げ効果、昨年4月の消費増税に伴う物価上昇を通じた購買力低下の影響がなくなることが個人消費にプラスに働くことなどを背景に、景気は緩やかな回復基調にあり、政府は、今後持続的な成長と財政健全化を実現するためには、民需主導の成長を本格化させるとともにアベノミクスの成果を地方に波及させるとし、今年度は、基礎的財政収支の半減目標の達成時期に当たるとしている。

しかしながら、バブル崩壊後の長期にわたる景気低迷で税収が減る一方で、高齢化で社会保障費が増え続けたのが要因とされ、国の借金は1千兆円を超え、国民1人当たり約792万円の借金を抱えて現状にあり、予断は許されない状況が続いている。

こうした情勢の中でシルバー人材センターは、高齢者が定年等を理由に現役から引退した後も、就労等を通じて地域社会で「居場所」と「出番」を得ることが地域の活力維持の礎であり、そのために就労や社会参加に対する意欲と能力を持つ高齢者が、その蓄積された知識・経験を活かして、地域社会の「支え手」となり健康で安心して生涯を送ることができる「生涯現役社会」の構築をしていくことが求められる。こうした現状を踏まえ、今まで以上に積極的な運営を行い、公益社団法人としての使命を果たす必要がある。

基本方針

公益社団法人として、その名に相応しい社会的信用の保持、国の雇用・就業施策の担い手としての役割、活力ある高齢社会の構築を図り、より一層地域社会の信頼に応える法人として、市行政とこれまで以上に緊密な連携を図り事業運営して参ります。

しかしながら、急増する高齢者の受け皿としての機能を十分果たし実践できるよう推進してはいるものの、行政刷新会議「事業仕分け」による大幅な国庫補助金削減を要因とする財政難により、シルバー事業は厳しい運営状況が現在も続き、加えて、契約金額は減少傾向にあり会員数においても5年連続で減少しているなど厳しい状況にあります。センターの安定的な財政・事業運営を図るためには、「就業機会拡大」及び「会員拡大」が急務となっており、昨年度発足した就業開拓推進委員会においても現状を把握し、目標設定を明確にした上で事業展開を図ります。

シルバー人材センターは高齢者が活かされる場所として重要な役割を担い、「自主・自立共働・共助」の基本理念の下に、幅広い活動を通じて「まちづくり」「人づくり」を推進し、働くことで誇りと生き甲斐を見出せ、社会参加活動においても心身両面の健康維持・増進老人医療費の軽減また追加的収入による消費の拡大など地元経済に対し大きく貢献できる組織として、地域の活力・維持・発展になくてはならない存在となるよう、会員及び役職員がセンターの方針・理念を理解し協力して事業を推進します。

事業計画

高齢者の臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業、及びその他の社会参加活動を推進する事業（公益目的事業）

1. 普及啓発

シルバー事業の意義と理念及び仕組みを地域社会に広く周知すると共に、リーフレット配布やポスター等掲示により高齢者の加入促進を行い、あらゆる機会を捉えて普及啓発活動に努める。

- * リーフレット、チラシ配布
- * 各種イベントへの積極的な参加による広報活動
- * ケーブルテレビ等地域の媒体を活用した広報活動
- * 会員による口コミによる会員加入の推進
- * センター情報誌等発行

2. 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業

安全・安心なシルバー事業を図ることは、事業遂行の基幹をなすものであり就業中の重篤・傷害事故の撲滅や損害賠償事故の撲滅を図るため、安全且つ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を行う。

- * 就業現場の巡回指導
- * 安全保護具の着用徹底指導
- * 夏期における熱中症予防対策指導、注意喚起
- * 運転適性等講習会の実施
- * 安全広報紙の発行
- * 安全標語募集、事故撲滅キャンペーンの実施

(2) 適正就業

法令厳守の徹底を図り「臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業」を実践するため、安全・適正基準を遵守し就業の適正化を図る。

- * 職群班会議の開催
- * 見積・請負契約の徹底
- * ローテーション就業の推進
- * 適正就業の推進

3. 就業分野の開拓・拡大

就業機会の開拓・拡大は、会員の増強と相俟ってシルバー事業の維持・発展の重要な課題であるため、就業開拓推進委員会を主軸とし、官公庁・民間企業・一般家庭等に対し高齢者に相応しい就業機会の開拓を積極的に展開し、会員に対しても就業に関する情報提供を行い就業機会の拡大を図る。

- * 官公庁・民間企業・一般家庭等への訪問開拓
- * リーフレット、チラシ等の配布
- * 地域の広報媒体等を活用した開拓

4. 企画提案方式による事業

少子高齢化への対応、地域経済の活性化、環境問題等地域において多くの課題を抱えている昨今、シルバー事業においてもこれらのニーズに対応し、課題解決のための事業の企画また継続的な事業を展開することにより、シルバー事業の活性化を図り、就業機会の拡大・会員の増加・事業の拡大等を図れるよう企画提案方式事業を実施する。

5. 相談、情報提供

シルバー人材センターは、会員による会員の自主的な組織であることや、取り扱う仕事（請負・委任形式）、就業環境は雇用関係が発生しないこと、また雇用関係がないため就業や収入の保証がないことなど、組織の仕組みや法令及び現状等各種会議等を通じて、情報提供に努める。

また、会員・一般家庭・企業等から就業や雇用等に係る相談があった場合は、その相談に努め、入会希望者には入会説明会を行う。

- * 入会説明会の開催 年12回 / 毎月20日
- * 地域班会議の開催
- * 会員及び一般市民からの相談に対する随時対応・情報提供

6. 社会参加活動の推進

地域社会への貢献及び社会参加活動の一環として、ボランティア活動を実施する。

- * 鵜飼乗船場周辺環境整備
- * 「シルバーの日」における公共施設等環境整備

7. 雇用による就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図ると共に、活力ある地域社会づくりに寄与するため、雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供について、職業紹介事業や一般労働者派遣事業を行う。

8. 財源確保及び組織体制

センターは、高齢化社会にあって労働力・高齢者福祉政策の観点からも欠かすことのできない事業であるが、厳しい財政・事業運営を余儀なくされている。

そのため、市行政に対しセンターの必要性の意義を提唱し財源確保に努めると共に、財政状況を分析の上、業務実施方法等の見直しを行い、事務経費、管理運営経費について経費縮減等効率的な体制での運営を行う。

9. 業務執行

公益社団法人としてセンター役員及び職員は、法人法及び認定法等関係法令、定款、諸規程を遵守し業務に努める。